

手術医療センター

室長 小田 利通

1. 背景

1) 湘南鎌倉総合病院の手術件数及び麻酔件数の推移

	総手術件数	総麻酔件数	(手術件数対比)
2012年	7,463件	3,873件	(51%)
2013年	7,824件	3,552件	(45%)
2014年	8,689件	3,913件	(45%)
2015年	9,232件	3,998件	(43%)

前年対比で総手術件数は5～10%増加しており、2016年には1万件を超える可能性がある。

2) 手術室運営における問題

総手術件数の増加に対して、総麻酔件数の比率は低下する傾向がみられた。これより手術室の現場では、手術件数の増加に対応する麻酔科医が充足していない可能性があり、外科診療科においては麻酔科運営に対する不満足感、一方麻酔科医においては過重な業務負担感を生じる可能性があることが示唆された。

麻酔科管理を要する手術は通常高リスク患者、高リスク手術が多いと思われる。手術件数に対する麻酔件数の比率の低下は、手術医療の質、あるいは外科および麻酔科の診療報酬の減収が起こる可能性がある。

3) 手術室運営の方向

日本手術医学会による「手術医療の実践ガイドライン（2013年改訂版）によれば、「手術部では、手術とそれに関連した業務を行うための理念、目的、目標を定め、組織全体で、その遂行に取り組まなければならない。」ことが勧告されている。

そしてこれを達成するために、手術医療に関連した専門的なマネジメントの知識と技能を有し、手術部の業務に関連した法令、規則、基準を熟知し、手術室で行われるあらゆる医療行為とそれに関連する業務を把握し、その管理・運営の責任を負い、手術医療のリスク管理にも責任を負うこと

のできる手術医療管理者を置くことが推奨されている。

2. 手術医療センターの役割

上記の問題の解決と手術室運営の整備を目的とした手術医療センターの役割として、以下のことが挙げられる。

- (1) 手術医療の医療安全体制を確立する。
- (2) 手術件数と麻酔件数の増加を促進する環境整備をする。
- (3) 外科診療科と麻酔科および手術室医療スタッフの調和を図り、チーム医療体制を構築する。
- (4) 手術医療の教育体制を構築する。
- (5) 手術医療業務を効率化する。
- (6) 手術医療の財務的効率化を図る。

これらの役割を実効性のあるものにするため、手術医療に関するデータ収集とその検証を行う。

3. 学業成績

1. 高木治, 小田利通, 井上敏, 下野愛子, 今堀夢, 小橋帝生, 高濱豊, 橋本和昌: 麻酔のコスト管理－医療費包括時代に向けて. 第54回日本麻酔科学会, 札幌市, 2007, 5.
2. 山崎晃, 小田利通: 麻酔医療の医療経済的検討. 第57回日本麻酔科学会, 福岡市, 2010, 5.
3. 釜田峰都, 小田利通, 野村岳志, 山崎晃, 高濱豊, 藪田直樹, 中澤春政, 高橋正憲: 麻酔医療の病院経営への係わり. 第41回神奈川麻酔科医学会, 横浜市, 2010, 2.

4. 体制

手術医療センター長 小田 利通

手術医療センター副センター長 野見山 延

: 日本静脈経腸栄養学会